

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -1

4-
-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	県内主要箇所から佐渡までのアクセス方法の確認・整備
節	.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	1 佐渡渡航アクセス方法情報提供	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	佐渡市交通政策課、県観光協会、佐渡観光協会、佐渡汽船株
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>県内主要箇所から佐渡までのアクセス方法を確認し、分かりやすい情報提供を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>主要な駅、高速道路等から佐渡汽船乗り場までのアクセス方法や運行状況、道路の渋滞、駐車場の混雑状況等について、インターネット等ICTの活用、観光案内所でのパンフレット配布などにより情報提供機能の強化を図る。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】</p> <p>メイン観光パンフである「佐渡さんぼ」を年1回作成し、県内主要箇所からのアクセス方法を表示する。 スマートフォンの利用普及を反映して、佐渡観光ナビをより分かりやすく検索できるよう整備する。</p> <p>【29年度実績】</p> <p>佐渡さんぼや佐渡観光ナビの記載内容について最新の情報に見直すとともに、構成の改修を行った。 佐渡さんぼを佐渡汽船内や待合室等、最寄の観光案内所、観光施設のほかに東京大阪アンテナショップに配置して周知を行った。 AMP化(Accelerated Mobile Pages)を導入し、検索時に上位に表示されるよう改修した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>H28整備の佐渡観光ナビにおいてもアクセス方法を紹介しており、ホームページの利用周知が必要である。 道路の渋滞、駐車場の混雑状況等の情報提供について検討する必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>観光ホームページの利用促進に向けた周知を行う。 紙媒体だけでなくインターネットによる情報提供を推進する。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 (a・b・c)</p> <p>【事業実施の効果】 (a・b・c)</p> <p>【総合評価】 (A・B・C)</p> <p>当初計画したとおり、アクセス方法の情報を佐渡さんぼや佐渡観光ナビを使って提供していく仕組みが構築できた。 パンフレットは観光案内所や佐渡汽船待合施設に配置するなど対応した。今後は引き続き最新情報の更新に努めていく。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。